



川西中だより3月号

山口市立川西中学校

〒754-0897 山口市嘉川4352番地2 ☎ 083-989-2209

ホームページへのアクセスは、『川西中』で検索、または右のQRコードから



<3年生に贈る言葉>※卒業式の式辞の一部を紹介します。

川西中学校を巣立ちゆく五十九名の皆さん。ご卒業、おめでとうございます。

卒業生の皆さんに、最後に伝えたい言葉は「皆さんの未来は明るく輝いている」ということです。

世界を見渡せば、国際関係、人権、経済、環境など、様々な問題があふれています。日本もまた、少子高齢化社会に端を発する様々な課題に直面しています。

しかし、世界にも、日本にも、それぞれの時代に、それぞれの課題があり、先達が知恵を振り絞り、必死に努力をして、道を切り開いてくれたのです。皆さんもまた、そのように、いかなる苦難が訪れようとも、乗り越えていくことができるはずです。

そのように確信が持てるのは、皆さんの成長ぶりを目の当たりにしたからです。最上級生として、立派に川西中学校をけん引してくれました。1学期には、生徒会執行部や各委員会が、これまでにない新しい企画を次々と立ち上げ、学校生活をより豊かなものにしてくれました。2学期には、体育祭、文化祭などの学校行事を行うたびに、皆さんの飛躍的な成長に驚かされました。

また、山口市市民会館に響き渡った学年合唱の歌声と、あのときの感動は、今も耳に焼き付いて忘れられません。3学期、それぞれの進路に向け、厳しい現実と真剣に向き合っていく姿は、まさに、これからの時代を切り開いていく力を秘めていることを確信させるものでした。

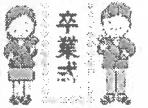
それでも、これからの人生で、「努力」が続かなくなりそうになったときには、京セラやKDDIの創業者で、JAL再建を成功させた実業家、稲盛和夫さんの次の言葉を思い出してください。

「誰にも負けない努力は自然の摂理」という言葉です。

例えば植物は、厳しい自然の中で必死に一生懸命生きて花を咲かせています。しかし、人間だけは「努力」ということを何か特別なことのように感じているのです。生きていくために、「努力」することは自然なことなのです。

そして、誰もが皆、それぞれの立場で「努力」を重ねています。自分だけがつらいと考えず、一步ずつでも前に進んでみてください。きっと道が開けるはずです。自信をもって輝かしい未来に進んでいってください。そして、志を果たした先の人生において、ご縁があれば、本日もご臨席いただいている地域の皆様のように、川西中学校の後輩たちのために力を貸していただき、持続可能な地域社会の担い手にもなっていただけたら幸いです。





ふるさと 川西の きずな を大切にし
夢に向かって「チャレンジ」する子どもの育成

「地域とつながる学び」で 学力アップ！ — 挑戦 川西中 —

山口市では、「コミュニティ・スクール」を基盤とし、『本物の学力』を育む小中一貫教育を推進しています。

川西中でも昨年度は、学力に関する「生徒参加型熟議」を行いました。その中で「授業中、もっとたくさんの人と意見交換しながら学びたい」という生徒の意見を多数聞くことができ、大変有意義な話し合いとなりました。我々教員が、授業改善に取り入れるべき方向性として今後も研修を進めていくつもりです。

また、いつの時代でも全国的によく耳にしますが「勉強がつまらない…」「数学の公式って何の役に立つの？」そんな生徒の声に対して、今回は、地域連携を活用したちょっとユニークな「本物の学力 向上プロジェクト（案）」を紹介したいと思います。

テーマはズバリ！…「挑戦!! 教科書の知識をリアルに活かせ！」… です！

① 地域商店と連携！数学が売上アップに！？

これは、地元商店とのコラボです。生徒たちは店主とチームを組み、「どうすればお店の売上が伸びるか？」を数学の視点で分析します。たとえば、パン屋では「曜日ごとの売れ行きをグラフ化し、最適な仕入れ量を計算する」、文房具店では「割引率を変えて売上の変化を検証する」といった形です。最初は「数学って難しい」と言っていた生徒も、「自分の計算でパンが売れた！」と実感できれば、目の色が変わるはずですよ。

② 地域の歴史を英語動画で発信！

また、英語の授業では、地元の観光スポットを英語で紹介する活動を実施してはどうかと考えます。生徒たちが地域の郷土史家から話を聞いてそれを英語に翻訳します。さらに、外国人観光客向けに案内動画を作成し「学校ホームページ」で紹介します。また、地元商工会や自治連合会、交流センター等で利用してもらえると素晴らしいと思います。「教科書の英語ってつまらない」と思っていた生徒も、自分たちの町を紹介するうちに、「伝えたい！」という思いが芽生えて英語表現を積極的に学ぶようになっていくと思います。

③ 農家と一緒に理科実験！

理科の授業では、近隣の農家と協力し、作物の成長に関する実験を行うと面白いのではないのでしょうか。「肥料の種類によってトマトの糖度は変わるのか？」といった研究テーマに取り組み、データを分析。最終的には、実験結果を地元のイベントで発表することができれば「理科って実験だけじゃなく、農業をはじめ生活にも役立つんだ！」と気づく生徒が増えるでしょう。

紹介した上記三例は、どれも地域とつながることで教科書の知識が「自分ごと」となり、生徒の「学ぶ意欲」を高揚させながら「学ぶ意味」が実感できるように工夫したものです。実践するには、生徒自身の研究テーマをタイムリーなものにするとともに、地域の協力者を募る必要があります。また、学習のカリキュラムも一年間のスパンを見通して設定する必要があるでしょう。しかし、これらの取り組みが充実できれば、「学力テストの平均点向上！」だけでなく、「勉強が楽しくなった！」「将来、地元で働くのもいいかも！」といった声が増える可能性が十分にあると思います。

近い将来、川西中学校と地域がコラボしてこんなユニークな学びができることを心から祈っています！

立派な「立志式」おめでとう！2年生



1月25日（土）、今年も2年生が「立志式」を迎え、立派な式を挙行することができました。この式は「元服」の儀式にあやかり、義務教育最後の年となる14歳の春、これまでの自分を振り返るとともに、それぞれが新たな決意を確認する儀式です。

新春の痺れるような寒気の中、一人ひとりがステージに上がり、保護者や来賓の前で、緊張しながらも自分の理想とする人物像や希望する進路、夢などを発表しました。

この日の思いを大切に、家族や友人、地域の方々に感謝の気持ちを忘れず、心身共に大きく成長してくれることを期待しています！

また、この日は川西三小学校6年生の自由参観日としており、来年度入学する児童が多数来校し、興味深そうに各学年の授業や校舎見学をしている姿が見られました。

毎月11日は『川西地域 いっしょ あいさつの日！！』